

今後の課題

平成 23 年度の永田浜ウミガメ観察ルールの実施結果を踏まえ、解決すべき今後の課題として、下記の事項が想定される。

(1) 8 月（ふ化期）の夜間臨時開館の実施体制

平成 23 年度は NPO 法人屋久島うみがめ館（以下、うみがめ館）のボランティアが集まらなかったことで、夜間臨時開館は 3 日間しか実施されなかった。夜間臨時開館の体制と開館が困難な理由は、以下のとおり

1. 夜間臨時開館の実施には、うみがめ館の職員及びボランティアがあたる。
2. 同時期にうみがめ館では、ボランティアが主体となってふ化調査を実施している。
3. ふ化調査の実施が優先であるため、ボランティアが少なければ、ボランティアだけでなく、職員もふ化調査を実施する。
4. ボランティアはいなければ、うみがめ館で夜間臨時開館にあたる人員を確保できない。

(2) 当該協議会メンバーによる「永田浜ウミガメ観察ルール」違反

○明かりの取扱いに関するルールが遵守されていない。

○ウミガメ観察会スタッフによるウミガメ保護柵内への進入。

今年度は 1 件のみ。ウミガメ観察会時期にウミガメの上陸数が少なく、産卵個体が保護柵内にしかいない場合に、保護柵内に入って観察してしまう。

(3) 永田浜以外の浜におけるウミガメの保護対策

永田浜以外の浜でも（特に栗生浜：国立公園外）、ウミガメ観察に訪れる観光客が増加。永田浜には自主ルールがあるため、自由な利用ができる他の浜でのウミガメ観察が増加していることが考えられる。